

JSBBA KANTO

公益社団法人日本農芸化学会関東支部 2022年度企業イベント

日本農芸化学会関東支部 2022年度企業イベント ～企業で活躍する先輩からのメッセージ～が、2022年11月19日(土)にZOOMIによるウェビナー形式で開催されました。

本イベントは、将来のキャリアとして企業への就職を考える院生・学部生に対して、企業の第一線で活躍中の先輩方の生の声をお伝えし、会社生活や将来像などの具体的にイメージしてもらうことを目的として、開催しているものです。

コロナ禍での様々な制約の中、今回も昨年に引き続き、ウェビナー形式での開催を行いました。

オンラインでの開催の効果もあり、北海道から九州まで32の学校から154名のエントリーがあり、当日も100名を超える参加者数となりました。質疑応答では、事前に70題、当日には58題が集まり、学生の興味の高さが伺えました。

当日の講師と演題(敬称略) 食品企業6社

1. 伊藤 有亮(キッコーマン株式会社 研究開発本部)
「“グローバルな挑戦を続ける”キッコーマンの研究開発」
2. 瀬戸口 翔(霧島酒造株式会社 研究開発部 醸造技術研究課)
「”総合食品文化企業”霧島酒造の研究開発」
3. 岡田 理志(キリンホールディングス株式会社 R&D本部 飲料未来研究所)
「キリングループの研究開発～世界のCSV先進企業を目指して～」
4. 萩原 雄真(キューピー株式会社 研究開発本部機能素材研究部野菜価値研究チーム)
「未来創造に向けたキューピーグループの研究開発」
5. 山中 颯(株式会社明治 研究本部品質科学研究所分析研究部食品分析技術G)
「価値実現を推進させる「 π 型研究員」として」
6. 平内 亨(株式会社日清製粉ウェルナ 品質保証部)
「日清製粉ウェルナの食品化学系フィールド ～食の求道者を目指して～」

JSBBA KANTO

講演では、企業紹介、自己紹介、業務や研究についての紹介、研究員の一日や余暇について、社会人としてのキャリアパス、学生への期待やアドバイス等々、興味深い話が満載で、学生にとって有意義で実りある講演内容でした。

事前に頂いた70題の質問のうち、全社に共通と思われる質問については、発表内容に入れて頂きました。また、当日にも各社個別の質疑はZOOMのQ&A機能を活用して行いました。匿名での投稿ができることもあり、積極的に多くの質問がありました。その全てに対し、質問時間が終わっても丁寧に講演者や会社先輩、人事担当者から回答頂き、各社の想いや魅力を分かりやすく発信して頂きました。参加者数やリアルタイムでの質問の多さから、画面の向こうからの学生の熱気を感じることができ、また遠隔地からの参加者も多く、オンラインの特長を生かした開催でした。

学生の皆さんからは、「今まで参加した説明会は会社全体の概要が主であったため、研究職を中心に知ることが出来て良かった」、「農芸化学系に絞った企業の話が聞けてよかった」、「普通の説明会では聞くことのできない内容でとても勉強になった」、「HPでは詳しく紹介されていない研究内容も知れてよかった」、といった感想をアンケートで頂きました。

今回のイベントが皆さんの今後の学業、研究、進路探しのモチベーションにつながることを主催者一同、願っております。

(報告者 伊藤考太郎)

各社講演の様子